

# 鮎貝小学校だより

第16号 平成29年12月15日(金)

成果と課題を明らかに・・・第2回 <12月5日(火)開催>

第Ⅲ節 わかる・できる喜び

合言葉

『しっかり勉強 進んで発表!』

日々の努力目標

『学習と読書の習慣づくり』

## 学校評議員会を開催しました

校長 向田 聡



学校評議員会は、年3回、各学期が終わる前に開催しています。第2回の今回は2学期を振り返って、特に算数を中心とした探究型学習の授業について、学習指導・生徒指導・健康安全指導の3つの指導部の取組について、多くの行事への取組について、さらに学校評価アンケート結果について成果と課題を報告しました。そして、校内をご覧いただき、授業の様子を見ていただきました。委員の皆様から出されたご意見を紹介します。

### <<学校評議員会、感想・協議の主な内容>>

- ◎子ども達の姿がとてもいい。落ち着いてしっかり授業を受けている。
- ◎先生方が一生懸命に工夫を凝らして授業を創っている。
- ◎授業で子ども達が生き生きしている。先生方の入念な準備のおかげだと思う。
- ◎忘れ物もないし、ノートもしっかりとっていて、字がしっかりしている。
- ◎玄関でもいいあいさつをもらったし、教室に入る時にも・・・、あいさつがとてもいい。
- ◎行事の写真を見せてもらったが、鮎貝小学校は子獅子舞の伝統があって幸せだと思う。これからも大切に受け継いでいってもらいたい。
- 鉛筆の持ち方が気になる。3年生あたりまでにしっかりと身につけさせたい。ものづくりの細かな作業、歯医者の治療・医者の手術など、手先の器用なことができるためには必要。
- 高学年になっても主体的に勉強に取り組むことがなかなかできない状況にある。身体は大きくても精神的に未熟だからなのではないか。家庭学習に向けた意欲開発の必要性を感じる。
- 最終的には『人間力』を育成していくことの大切さを感じる。様々ななかかわりの中で人は成長することができるので、かかわりの豊かな学校・家庭生活を送らせたい。
- これからは、コンピュータをどう生かしていくかだと思う。機械に振り回されるのではなく、人間が機械をコントロールする力を身につけていかなければならない。
- 学校評価アンケートのように数値にまとめると見えてくるものがあるのでこれからも大切にしてほしい。



小さい子との交流で成長する上級生



# なわとびチャレンジ! 冬季の体づくり開始!



ハイスピード&ノーミスをめざす高学年

雪が積り、外に出て雪で遊ぶことはできても、体力づくりをすることは難しくなりました。本校では冬場はなわとびに力を入れて、体力づくりを継続しています。大きく2種類があり、クラスみんなで跳ぶ長なわとびと一人で様々なとび方にチャレンジする短なわとびです。

長なわとびは最後にクラスマッチ形式の大会を行います。このルールが絶妙な学年ハンディをつけており、どの学年にも優勝の可能性があります。ですから練習もとてもやりがいがあるのです。主なルールは・・・



多くのとび方・回数のクリアに励む子ども達

- 1~3年生・・・引っかけても、時間内に何回とぶことができたかを全て数える。
- 4~6年生・・・引っかけたら、またゼロから数え直して、時間内に最高何回とぶことができたかを数える。
- ※ その他、各学年には時間のハンディキャップをつける。

昨年、一昨年と練習の段階では6年生が素晴らしく、優勝候補でしたが、本番の緊張からか途中で痛恨のミスがあり、わずかの差でした下学年に優勝を譲っていました。今年度はどうなるでしょう。各学年、ミスなくハイスピードでできるように精一杯取り組んでいます。

また、短なわとびでは、たくさんのとび方で回数や時間をクリアするとポイントとなるようカードを工夫し、級・段を認定していくように意欲づけしています。学校でも取り組みますが、冬休み等、ご家庭でもぜひ取り組んでほしいと思っています。なわとびは、とてもいい体力づくりですので、励ましていただきたいと思います。



8月から始まった駐車場の工事が終了しました。旧保育園解体、雑木伐採により広大な土地が広がり、本校の景観も大きく様変わりしました。立派な校舎、グラウンド、庭や遊具、そして教育の森も合わせて学校環境としてこの上ないものとなりました。また、この駐車場はコミュニティーセンターと共用となります。様々な地域行事の際も大活躍してくれることでしょうか。管理は本校が主に行いますが、ゴミを散らかさない、トラブルを起こさない、大切に使うなどのご協力をどうかよろしくお願いします。